

彩の歳時記

平成三十一年 四月



「春宵一刻値千金」とは、四月初頭にぴったりの言葉です。

春の宵(よい)は、素晴らしく、そのひとときは千金にも値するという意味。

蘇軾(そしやく・1037~1101)の詩『春夜』の一節。石川五右衛門も南禅寺山門で「絶景かな、絶景かな。春の宵は値千両とは、小せえ、小せえ。この五右衛門の目からは、値万両、万々両」と言ったようです。宵とは、「日没から夜明け」までの呼名「ゆふべ↓よひ↓よる↓あかつき↓あけぼの↓あした」の一つ。

「宵闇迫る」「宵つ張りの朝寝坊」などの言葉「宵」は、時間的に不正確との理由で2007年「天気予報用語改正」で「宵のうち」は「夜のはじめ頃」に。趣ある言葉が消えてゆく中、空調の無かった時代、まさに愉悦の時間だった「春の宵」は、今を生きる私達にも心地良く、新しい空間を与えてくれます。

四月の暦

卯月 卯の花(白い五弁の初夏の花)の咲く月。



一日 エイプリルフール 罪のない嘘をついて良いとされる日。日本では「四月馬鹿」とも呼ぶ。年度初め 暦年とは別に、事務など便宜のための区分。明治19年に納税の関係から始まる、

二日 連翹忌 詩人・彫刻家、高村光太郎【1883~1956】の忌日。好んだ花に因む。

代表作『道程』(1914年作)は日本の口語自由詩の最初の大きな収穫とされ大正以降の人道主義的思潮にも影響を与えた。妻・智恵子【1886~1938】との結婚前から死後の三十年間を書いた詩・短歌、散文が収録された『智恵子抄』は、映画、テレビ・ラジオ、小説、戯曲、能、オペラ、歌謡など素材になった。

五日 清明【二十四節気】百花が咲き始め、万物に清朗の気が溢れる頃。

八日 花祭り・灌仏会 仏教の開祖である釈迦【BC463~383c】の誕生日とされる日。八王竜王が喜びのあまり甘露の雨を降らせた伝説に因み、釈迦像に甘茶をかけて祝う。古くは掛けた甘茶で墨を擦り、虫除けの呪いを書いた。始まりは、606年の4月8日とされ、平安時代に寺の年中行事に。寺の付属幼稚園では、今も花祭が行われている。



十三日 啄木忌 望郷と漂泊の天才詩人、石川啄木【1886~1912】二十七歳の忌日。



現代の若者にも解る時空を超えた「心情表現」の天才歌人で今も人気が高い。はたらけど はたらけど なほわが生活くらし楽にならざり じっと手を見る 友がみな 我よりえらく見ゆる日よ 花を買ひ来て 妻としたしむる

二十日 穀雨【二十四節気】春の温かい雨が降り穀類の芽が伸びて来る頃。

「花開くとき風雨多し」と言い 薄い霞がかかる日が多く、頭痛・めまいが起きやすい時期

二十四日 寒の戻りの特異日 春の気温が上がる時期に突然やって来る寒さ【寒の戻り】は大陸からの寒波が襲うので体調管理をしっかりと。

二十九日 昭和の日 天長節↓天皇誕生日↓みどりの日から昭和の日に。四月の歌 月光値千金 1928年 アメリカのポピュラー・ソング。

原題は「外へ出よう、月の下へ」。ピング・クロスビー・ドリシディ・ナッキングコール等が取り上げてスタンダードナンバーに。題名は訳詞の伊庭孝(いばたかし)【1887~1937】が「春宵一刻値千金」から名付けた。伊庭は、音楽評論家、歌劇演出および脚本家で、田谷カミ、藤原義江らと共に「浅草オペラ」を確立。「日本の喜劇王」と呼ばれる榎本健一【1904~1970】や、日本のジャズ・シンガーの嚆矢、ディック・ミネ【1908~1991】のバージョンなどがある。



ただ一人 楽しく 淋しい夜は 彼女を誘って 外に出て見れば 銀色に輝く 月の光に 私心は 浮いてはずむのよ あおげば空には冴えわたる月が アー 美しい夜 オー手をとりささやく恋の言葉に 心の悩みも 消えてあともなし